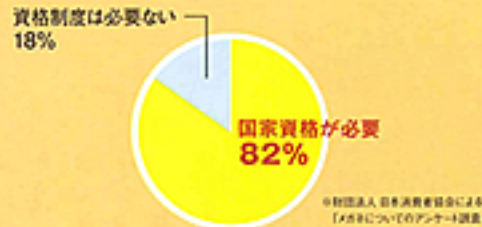




「認定眼鏡士」は、メガネ関連唯一の認定資格です。
私のメガネは、「認定眼鏡士」に作ってもらいました。

「メガネを作る人には国家資格が必要」
…と、82%の人が答えています。



メガネをかけている多くの方が「国家資格が必要」と答えています。メガネは視力を保護するための大切な道具です。それだけにより高い安全性が求められています。

日本ではメガネを作る人の
技術レベルが分かりにくいのが
現状です。

良いメガネ、それは良く見えて、掛けているのを忘れるぐらいラクで、似合うこと。そんなメガネを作るには適切な視力測定、使用目的やライフスタイルに合ったレンズ選定、レンズレイアウトなど専門的で高度な技術が必要となります。どんなに視力測定をしっかりと使用目的にあわぬレンズでは見づらく、また目とレンズの距離や角度が違えば、見え方に影響が出てきます。しかし、現在日本では誰でも作ることができるというのが現状です。これでは技術レベルを一般の方々判断することはできません。



これでは、心配ではありませんか？

そこで、つくられたのが
公益社団法人 日本眼鏡技術者協会の
「認定眼鏡士制度」です。

消費者が眼鏡士の技術レベルを判断できるように2001年にスタートしたのが日本眼鏡技術者協会の「認定眼鏡士制度」です。「認定眼鏡士」は、知識や技術の厳しい審査をパスした者だけに与えられる、メガネ関連では唯一の資格です。



眼鏡士認定資格書



メガネのスペシャリスト「認定眼鏡士」、その目印はこのステッカーです。

進化するメガネ、だから3年ごとに資格更新。

メーカーの商品開発により、新設計のレンズや新素材のフレームが次々と登場しています。またパソコンによる疲れ目やドライアイなど、生活習慣から生じる様々な症状も、眼鏡技術者はいち早く把握しておかなくてはなりません。従って、認定眼鏡士の資格有効期間は3年間のみ。資格維持のためには生涯にわたって教育受講の回数が必要とされており、規定回数を満たさなかった場合は、資格を喪失するという厳しい内容となっています。

「認定眼鏡士」に
国家資格を!

現在、全国に「認定眼鏡士」の資格者が着々と増え、安心のネットワークづくりが進められています。メガネを作るのに、海外の多くの国では国家・公的資格が必要です。公益社団法人 日本眼鏡技術者協会は、「認定眼鏡士」の国家資格実現に向けた活動を行っています。



確かな知識と技術を身につけたメガネのスペシャリスト「認定眼鏡士」。これなら安心だわ。

当店には、
メガネのスペシャリスト
認定眼鏡士
が在籍しております。

眼鏡店選びは、このステッカーを目印に!



Japan Optometric Association

公益社団法人 日本眼鏡技術者協会

眼鏡に関する技術・知識を通じて、広く社会に貢献しようという団体で、眼鏡関連では唯一の公益社団法人です。豊富な知識と確かな技術を有する「認定眼鏡士」の登録をはじめ、定期的な講習会を催し、知識技術レベルの標準化と向上、新しい視生活への対応をはかっています。